

特 別 号

広
報

こうし

生活・健康・産業

誰もが住みやすいまちへ

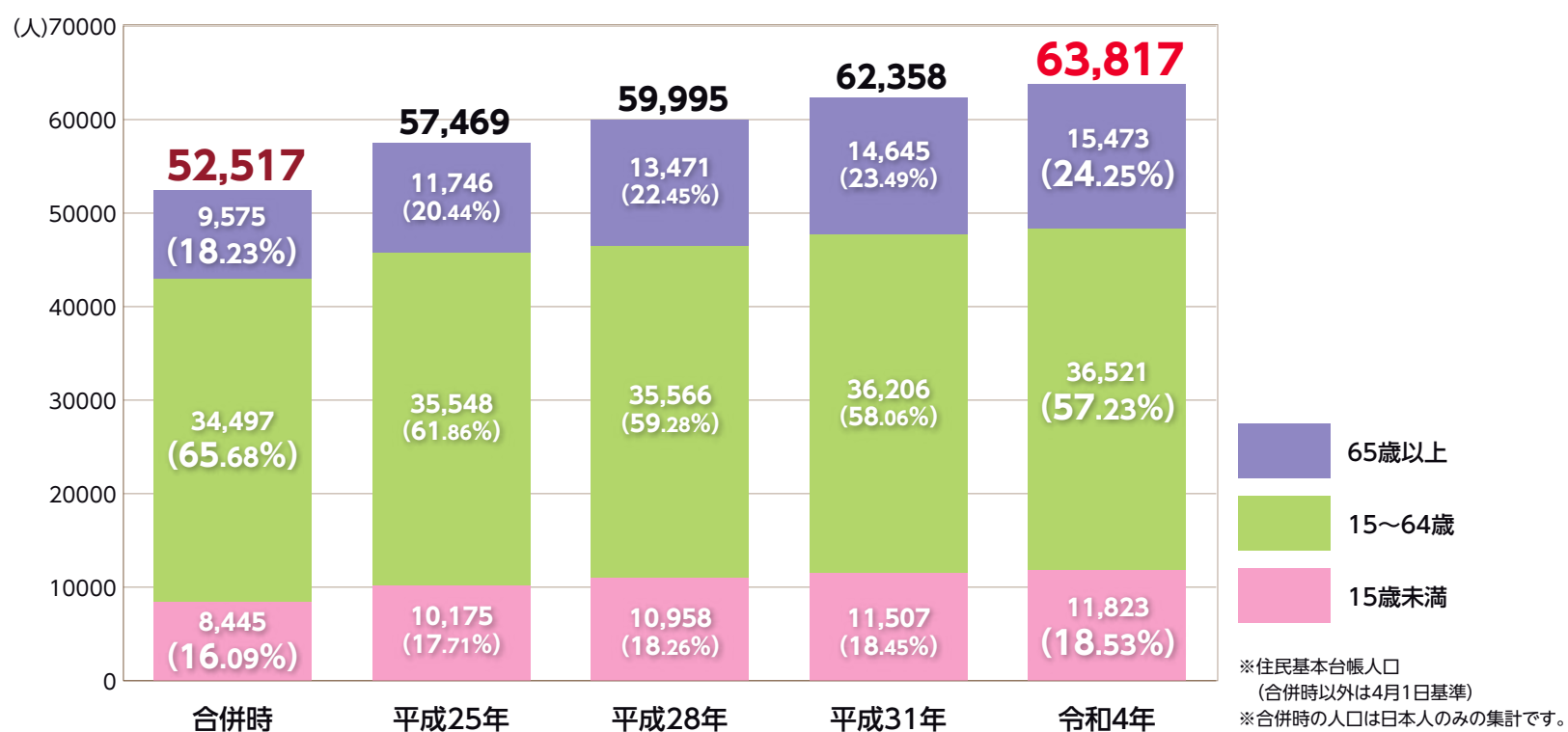
合併から17年。
これまでの取り組みや現在の
主な支援策をご紹介します。

- 子育て支援
- 教育環境充実
- 健康増進
- 女性・子ども・高齢者支援
- まちの活性化

「住みよさ」でも高評価！ 人口増が続く合志市

本市は、平成18年2月27日に合併し、当初52,517人だった人口は現在63,817人（令和4年4月1日現在）と、1万人以上増加し、全国的に人口減少・少子高齢化が深刻化する中で、人口が増加している数少ない自治体です。

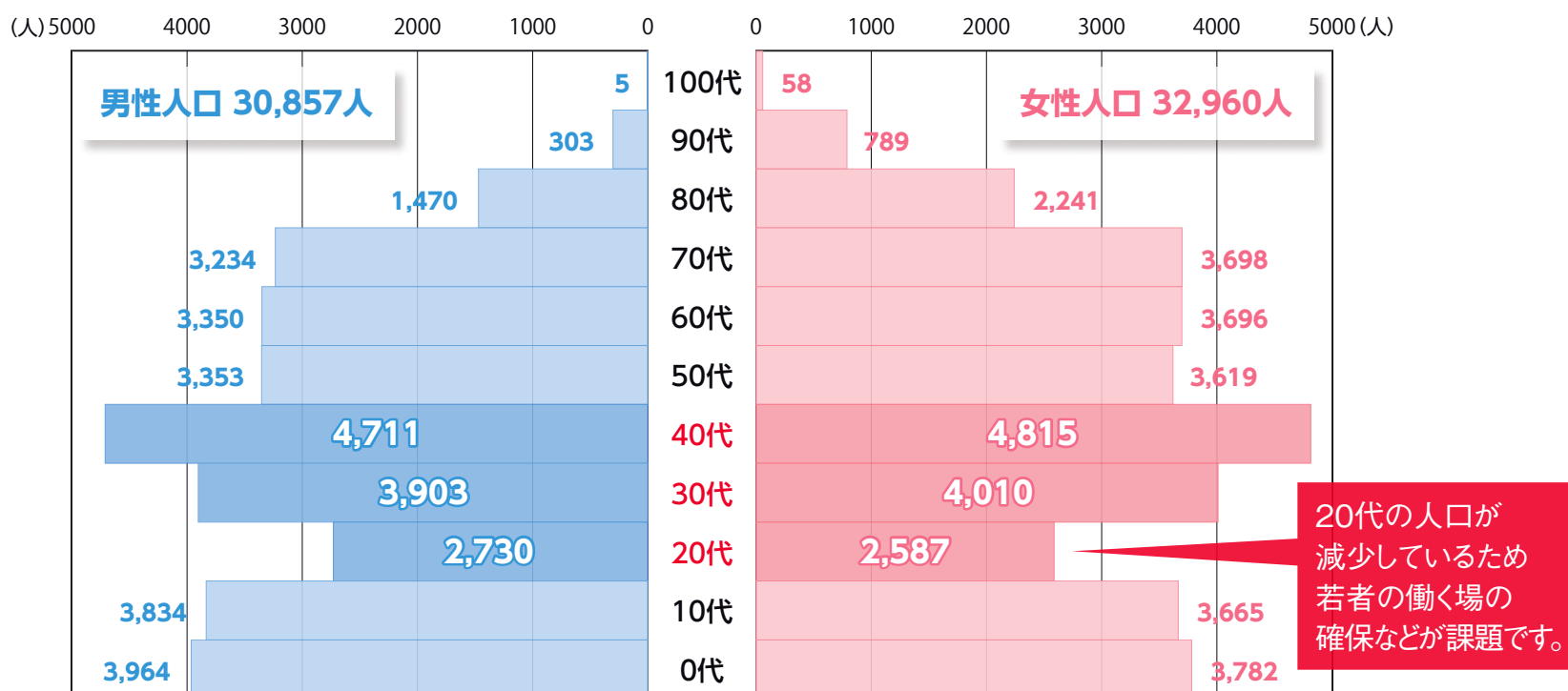
政令指定都市である熊本市周辺という、通勤通学の利便性および市内工業団地などへの企業進出の影響から現在も増加傾向が続いています。



令和4年4月1日時点の総人口63,817人のうち、男性が30,857人、女性が32,960人となっています。

10代から20代は、市外あるいは県外への大学進学や就職をきっかけに転出が多くなっています。一方で、ファミリー層である30代をはじめ子育て世代の転入が全体の人口増加の下支えとなっています。

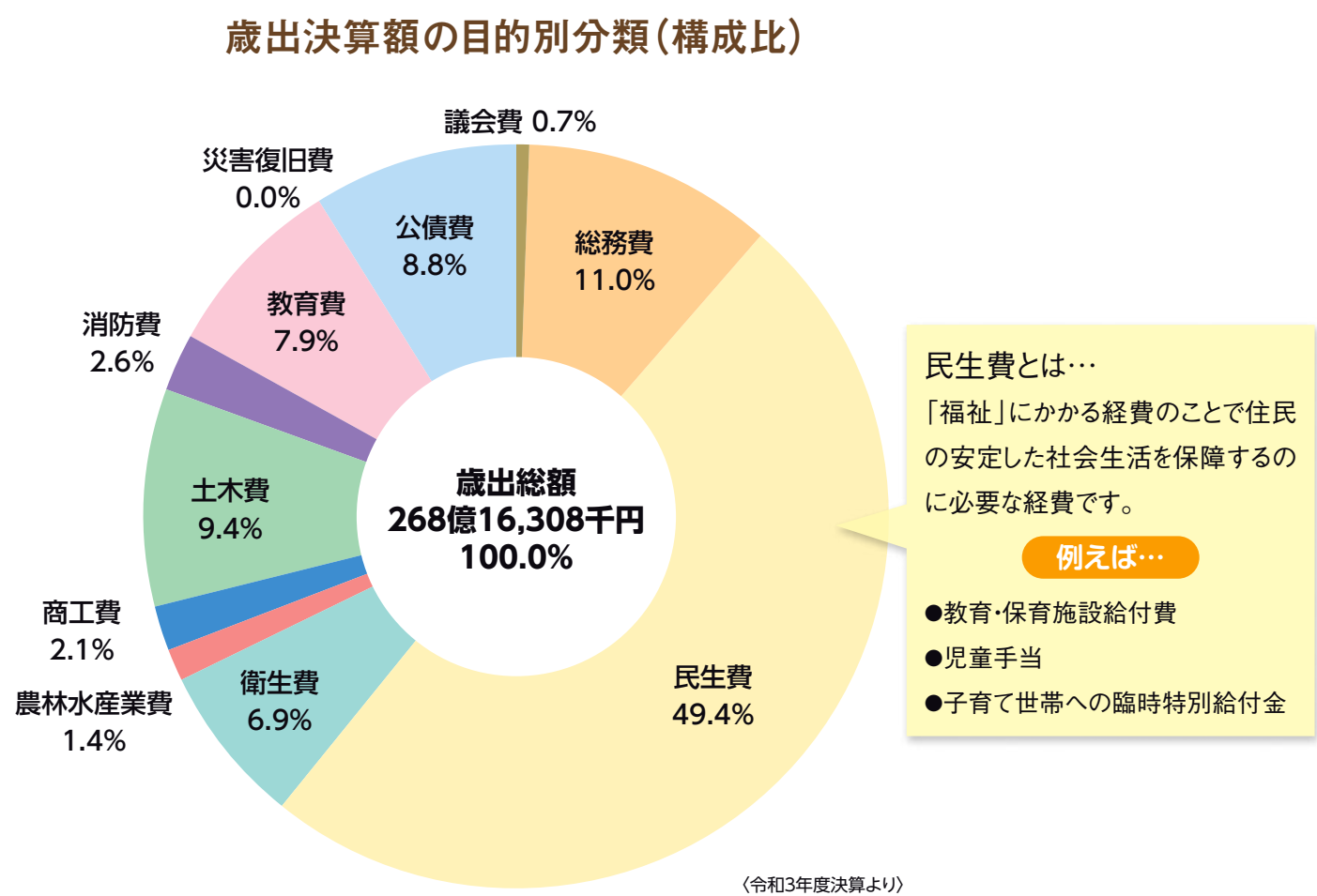
合志市人口ピラミッド（令和4年4月1日）



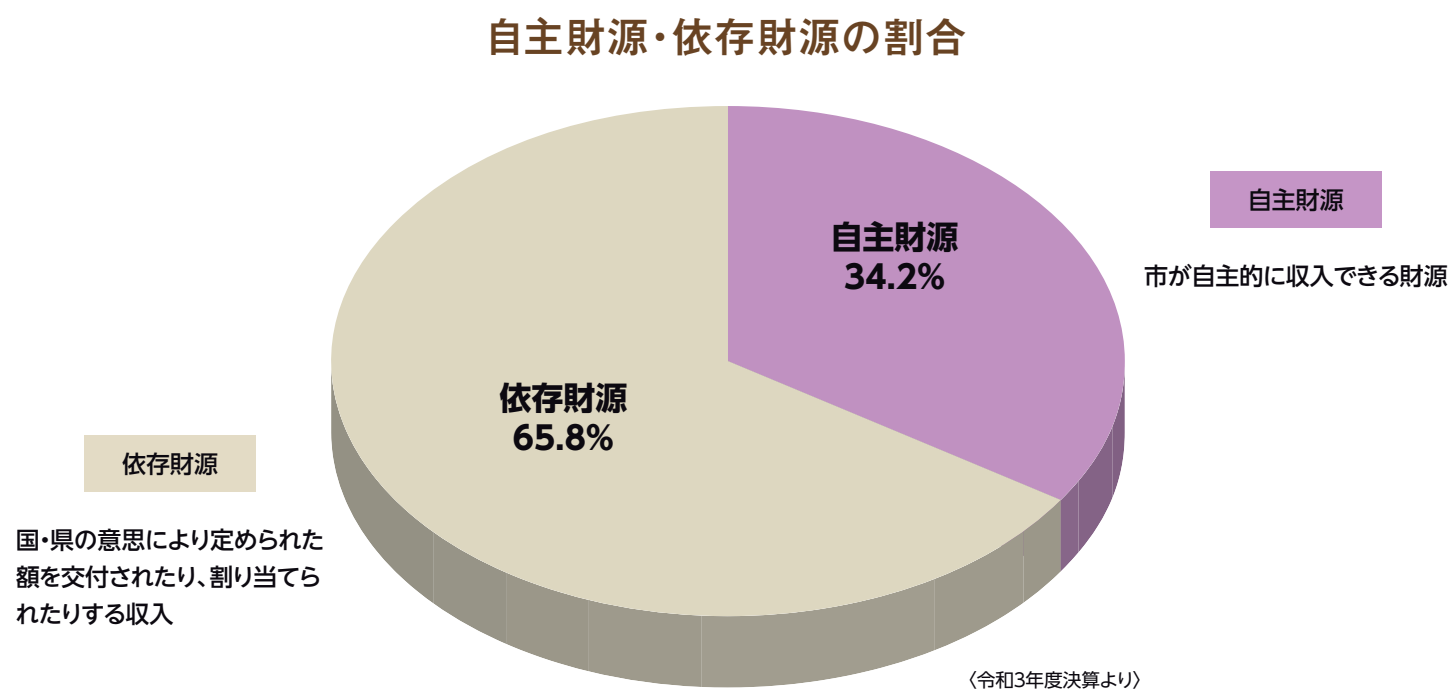
また、東洋経済新報社による「住みよさランキング2022」では、調査対象である全国812市区中で21位となり、全国の中でも注目される都市となっています。

厳しい財政事情の中、 各種施策を展開

本市は、人口が増加している数少ない自治体ですが、同時に福祉（民生費）や教育に関する費用も急激に増えている自治体でもあります。



少子高齢社会を迎えるわが国にあっては、人口減少に対する手厚い支援が行なわれていますが、本市のように人口増加が著しい市町村に対する国・県からの支援は少ないのが実情です。将来に向けて、安定的な自主財源の確保が必要です。



本市としては、財政事情が厳しい状況において、常に現状を把握しながら中長期にわたる財政計画を立て、また見直しながら、将来の子どもたちにつけを残さない行財政運営に努める責任があります。
今後はさらに、優先順位を考えながら、市の将来を見据えた事業への取り組みを進めていきます。



合志で育てる 地域で育てる （子育て支援事業）

こども医療費助成を拡大

合志市では、これまで0歳から中学3年生までの子どもの医療費について、自己負担分を全額助成していました。さらに、令和5年1月からは、この対象となる年齢を18歳まで拡大しました。子育て世帯の経済的な負担を減らすとともに、子どもたちの健康を維持することが目的です。

子どもたちの健やかな成長は、未来の合志市のために欠かせません。限られた財源をやりくりしながら、子育て世帯をサポートします。



授業後の子どもを預かる 「放課後児童クラブ」

日中、仕事などで保護者が家にいない子どもたちを預かる「放課後児童クラブ」。学校の分離・新設に伴い設置された「合志楓の森小 学童ぞうさんクラブ」は、子どもたちの安全・安心な保育環境を確保するため、隣接地の購入や施設の建設を行い、充実化を図りました(事業費約2億4000万円)。約160人の児童が利用し、快適な環境下で、宿題をしたり、遊びを楽しんだりしています。

合志市は年間3億円余りの予算で、28施設ある「放課後児童クラブ」(令和4年4月1日現在)を運営・委託しています。安心して子どもを預けられるよう、子育て世帯の増加で需要が高まる中、増設も検討しています。



【問い合わせ】 子育て支援課 TEL 096-248-1162



いろいろあります!

合志市の子育て支援



就学前

子どもの一時預かり

ぽっぽ保育室(ヴィーブル)

仕事、介護、冠婚葬祭などの理由で保育出来ない場合に、一時的に預かる

【料金】 有料(月額契約あり)

【問い合わせ】 TEL096-248-2230



0歳～
小学6年生

子育てを“相互で”支援

① ファミリーサポートセンター

保育所・学校が休み、急な残業など、子どもを預けたい利用会員が
子育てを手伝いたい協力会員に預ける

【料 金】月～金：1時間700円

土日祝、深夜早朝：1時間800円(合志市に住む人は、市が半額助成)



生後2カ月～
小学3年生

仕事で看護が難しい時は…

① 病児・病後児保育

病氣中、病氣回復期の子の預かり保育

■すこやか(ふれあい館) ■ひかり(南ヶ丘福祉支援センター輝き館)

【料 金】2,000円(減免措置あり)



0歳～
3歳

乳幼児

子育て仲間の輪を広げましょう

親子が集って交流したり、育児相談したりする場

② つどいの広場

■ひかりの子(合志中部保育園)

■ぽっぽの部屋(ヴィーブル)

■わかば(このみ坂保育園)

① 子育て支援センター(ふれあい館)



0歳～
高校生

充実!子どもの遊び場

② 東児童館

① 西児童館(ふれあい館)

② 泉ヶ丘市民センター児童館

詳しい催しなどは月刊広報紙をご覧ください。

利用時間や条件など、
詳しいことはお問い合わせください。

① 合志市社会福祉協議会(ふれあい館内) TEL 096-242-7008

② 子育て支援課(合志市役所)

TEL 096-248-1162

教育環境の充実を図ります



学校施設の整備・改修

人口増加に伴い、児童・生徒数も増える合志市。それに伴う教室不足などの解消に努めてきました。令和3年4月、教育環境を充実させるために、「合志楓の森小学校」と「合志楓の森中学校」を分離新設しました。既存の学校でも、増改築や老朽化対策を実施しているほか、県内の自治体でも保護者負担がなく早期にエアコンを設置するなど、子どもたちにとって安全・安心で快適な環境を実現しています。

【問い合わせ】 学校教育課 TEL 096-248-2366



合志市電子ライブラリー

令和3年度から児童・生徒1人に1台タブレット端末を配布。オンラインでの授業の配信や、児童・生徒間でファイルを共同編集するなど、活用しています。さらに、新聞記事を基にしたコンテンツを児童・生徒のタブレットに配信する「合志市電子ライブラリー」を導入。地域や熊本のことを学ぶもので、家庭での自学自習、授業で活用することが期待されます。ICT機器を児童・生徒が適切・安全に使えるよう、情報モラル教育にも取り組んでいます。

【問い合わせ】 企画課 TEL 096-248-1813



ハンセン病問題を学ぶ

合志楓の森小・中学校には、住民にも開放される「地域交流室」があります。ここで開かれたのが、菊池恵楓園入所者の絵画クラブ「金陽会」の絵画展です。自由に外に出ることができなかった入所者の皆さんが、故郷や思い出の情景を独学で描いた貴重な絵画作品の数々。鑑賞した児童・生徒や市民に強い印象を与えた絵画展は、ハンセン病問題を知り、学ぶきっかけとなりました。

市では、ハンセン病問題をはじめ、さまざまな人権問題について啓発活動に取り組んでいます。

【問い合わせ】 人権啓発教育課 TEL 096-248-2399

健康寿命を延ばします



合志市や関連企業で構成し、健康増進に取り組む団体「ウェルネスシティこうし」。専用端末を身に着けて「健康活動量」を測定する「バーチャルウォーキング大会」や、測定機器を使って日々の野菜の摂取量を評価する「ベジチェック測定会」など、全国的にも珍しい、「運動」と「食」に着目した取り組みを行なっています。市民の健康寿命を延ばすよう、「数値の見える化」に力を入れた取り組みを進めます。

【問い合わせ】 秘書政策課 TEL 096-248-1028



生活習慣病の予防を



運動不足や、偏った食事が原因となる生活習慣病。発症や重症化を防ぐため、国民健康保険制度の加入者に、腹囲や血圧の測定、血液検査などの特定健診を行なっています。40歳、45歳、50歳、55歳の市民に、特定健診を受けられる無料クーポン券を配布。受診した人には、ユーパレス弁天の施設利用補助券を発行しています。

【問い合わせ】 健康づくり推進課 TEL 096-248-1173



インフルエンザ予防接種費用助成

インフルエンザの予防接種は、発症や、発症しても重症化を防ぐことが確認されています。合志市では、国が定める定期予防接種の対象となる65歳以上の方だけでなく、生後6か月から65歳未満の方にも、接種費用を助成し、自己負担の軽減を図っています。予防接種期間は、例年10月から12月です。

【問い合わせ】 健康づくり推進課 TEL 096-248-1173

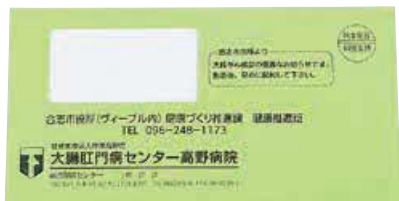
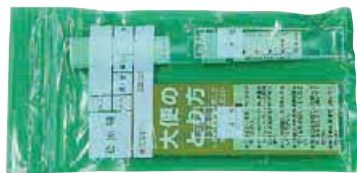


ポストに投函「大腸がん検診」



合志市では、「大腸肛門病センター高野病院」と包括連携協定を結び、「大腸がんによる死亡者ゼロ」を目指しています。大腸がんは、症状がない時の検診が重要です。検診に行く時間が取れない人でも、ポストに投函するだけで検査が受けられるよう、毎年1月頃に対象者を絞って、検診セットをお送りしています。年に1度の検診で予防に努めましょう。

【問い合わせ】 健康づくり推進課 TEL 096-248-1173



女性・子ども支援

女性や子どもの相談を受けています



養成講座受講者にキーホルダーを
差し上げています

「女性・子ども支援課」は、女性や子どもに関する相談を受ける専門部署です。その取り組みのうち、毎年秋には九州ルーテル学院大学から講師を招き、子どもを取り巻く現状から地域における気づきのポイントまで、子どもたちを守る「気づきの目」を養うため、「地域の家族見守りサポーター養成講座」を開催しています。地域に多くの「気づきの目」があれば、児童虐待など、身近で気になる家庭や心配な子どもの早期発見・早期対応につながります。サポーターを増やすことで、子どもたちが、より安全・安心に暮らせる地域づくりを目指しています。女性・子ども支援の取り組みについては、警察や医療、福祉などの関係団体で作る「市女性・子ども支援協議会」に情報共有し、そこで出た助言などをフィードバックさせています。

【問い合わせ】 女性・子ども支援課 TEL 096-248-1199



安心サポート
合志



合志市総合センター「ヴィーブル」にある、市社会福祉協議会が運営する「合志市生活支援相談センター」。市の委託で、生活困窮者自立相談支援事業、「安心サポート合志」を行なっています。社会的・経済的困窮、就労やひきこもりの問題など複合的な課題に対して、専門の相談員が対応。市の関係部署や、専門機関、民間事業者と連携して、自立に向けてサポートします。生活する上で困ったことはありませんか?自立に向けた「伴走型」で支援します。

【問い合わせ】 合志市生活支援相談センター(安心サポート合志)
TEL 096-248-1100



スマートフォン講座



新型コロナウイルスの感染拡大で、外出の機会が減っている高齢者。コミュニケーションの新たな手段として、スマートフォンの使い方講座を実施しています。熊本高等専門学校生徒が、基本操作や、SNSの使い方などを分かりやすく説明。コロナ禍でも高齢者が人と繋がり、生きがいを感じるための取り組みです。

【問い合わせ】 高齢者支援課 包括支援センター
TEL 096-248-1126

空き家・空き地の有効活用



合志市は、空き家の所有者と利用者のマッチングを行なっています。賃貸または売却を希望する所有者から情報提供を受け、「合志市空き家バンク」に登録した物件情報を、定住・住み替えなどを希望される方に提供しています。この取り組みは、市から業務を受託した(株)こうし未来研究所が相談窓口を行なっています。

【問い合わせ】 (株)こうし未来研究所 空き家相談窓口
TEL 096-288-3731

住宅から福祉まで支援



「合志市居住支援協議会」は、高齢者、障がい者、子育て世代などの住宅の確保に配慮が必要な「住宅確保要配慮者」が民間賃貸住宅に円滑に入居できるように支援する組織です。住み始めた後の見守り、生活支援のほか、専門家によるセミナー・相談会を通じて相続や遺産整理などの「終活」も支援しています。

【問い合わせ】 合志市居住支援協議会
TEL 096-327-8363(お客様相談ダイヤル)



買い物に関するお困りごと・要望の解決に向けて 各種買い物支援策

1

移動販売（野菜、果物、日用品等）

毎月第2・4金曜日

9時10分～9時40分 泉ヶ丘市民センター

10時～10時30分 西須屋団地公民館

10時45分～11時15分 南陽公民館

11時30分～12時 須屋市民センター



2

高齢者等の買い物付き添い（ぽっかぽかサポート）

●公共交通機関で一緒に行く（付き添い人含め、交通費実費負担）

●買い物先で待ち合わせ・付き添い

利用料 1時間200円（事前登録必要）



3

買い物代行（ぽっかぽかサポート）

利用会員が協力会員に買い物リストと代金を預け代わりに買い物へ

利用料 1時間200円（事前登録必要）



ぽっかぽかサポート
（合志市社会福祉協議会）



4

訪問型サービスA（週1回）

●市の講習を受けたサポーターが自宅へ訪問

●1人で出来ない掃除や買い物などをお手伝い

対象 65歳以上の人で、下記のどちらかに該当

●要介護認定で要支援1・2

●基本チェックリストで事業対象と認定

利用料 1回200円（週1回45分）



【問い合わせ】 ①～③ 合志市社会福祉協議会
④ 地域包括支援センター（合志市役所）

TEL 096-242-7000
TEL 096-248-1126



デジタルキッチンプロジェクト

合志市では、「健幸都市こうし」デジタルキッチンプロジェクトと題して、コロナ禍で新しい事業形態として注目される「移動販売」に関する創業支援に力を入れています。その一環で、支援を受けた事業者が作る美味しいフードや地域の特産品を販売する「54マルシェ」を「クラッシーノ・マルシェ」の敷地内で開催。首都圏でもマルシェを実施しました。引き続き、地域製品の販路拡大や、合志市の認知度向上による観光客の増加を目指します。

【問い合わせ】 商工振興課 TEL 096-248-1115



農業活カプロジェクト

合志市は、「農業活カプロジェクト」として、温室効果ガスを排出しない自然エネルギーを農業の維持・発展に繋げています。平成27年度から、民間企業と共同で設置した大規模太陽光発電所の売電収益の一部を農業インフラの整備・改善(守りの農業)、農産物の販路拡大と情報発信など(攻めの農業)に活用しています。その一環で、消費者の多い首都圏での販路拡大を目指し、令和2年度、Jリーグ「川崎フロンターレ」と協定を結び、神奈川県での物産展の開催や、チームによる合志市の魅力などの情報発信を実現しました。この取り組みは、県内の農業団体との覚書締結を経て、全国でも認知度の高いサッカーチームを通じた、県全体の農産物のPRにも繋がっています。

【問い合わせ】 商工振興課 TEL 096-248-1115
農政課 TEL 096-248-1445



創業をサポートします

合志市は、九州経済産業局、市商工会、金融機関と連携し、令和2年度に「創業支援チーム」を結成。市内での創業を後押しするため、経営や資金繰りなどの相談などに取り組んでいます。また、市では、低利で融資が受けられる融資制度や、融資に係る信用保証料の補給(令和4年度約124万円)、創業時に必要な経費の補助(令和4年度 約150万円)を実施しています。さらに、女性向けセミナーの開催など、幅広い支援策を展開しています。「創業支援チーム」の結成以降、30の事業者が新たに創業。このうち、女性の創業は10者にのぼっています。今後も、合志市での創業を考える人の相談をお待ちしています。

【問い合わせ】 商工振興課 TEL 096-248-1115

市の活性化を目指します

農産業コンソーシアム



平成29年度に設立した、「クマモト未来型農産業コンソーシアム推進協議会」。合志市の農業の振興、発展のため多面的な事業を進めています。ほうれん草の周年栽培では、供給が不足する夏場に販売を行なうことで他産地との優位性を図ることが可能になりました。また、令和2年度から、市の竹林の整備・保全と合わせ、タケノコを原料供給する取り組みを始めた他、農業の産業化を目指したビジネススクール、若手農業者の人材育成と所得向上を目的としたドローン事業も行なっています。今後も、地域活性化や新技術・産業の創出、集積を目指します。

【問い合わせ】 商工振興課 TEL 096-248-1115

KOSHI

子どもに人気!「児童館」・「図書館」 地域に身近な行政窓口





集い、憩い、楽しむエリアへ 新「御代志駅」開業

合志市では、平成30年度から、熊本電鉄御代志駅の軌道移設や、駅前広場の整備、国道の交差点改良を一体的に行なう、「御代志土地区画整理事業(地区面積17.9ha)」に着手しました。そして、令和4年10月10日、新しい御代志駅が開業しました。今後は、国道387号東側地区に大街区を創出し、新しい御代

志駅と調和した魅力ある商業施設などを誘致することで、賑わいのある拠点市街地の形成を図ります。また、交通渋滞緩和のため、国道387号と市道の交差点の改良を進めています。居心地の良い、賑わいのあるまちづくりは、さらに進んでいきます。

【問い合わせ】 土地区画整理室 TEL 096-248-1166

